

# 志賀高原山行報告

【山城】 志賀高原

【日程】 2018年3月17日(土)~18日(日)

【登山方法】 雪山ハイキング

【メンバー】 CL 室(昌)、SL 吉瀬、宮城、鈴木(愛)、清野(記録)

【ルート】

17日(土) 旭山

18日(日) 渋池-四十八池

【内容】

17日(土) : 快晴

船橋 6:20-サンバレースキー場①12:35-13:10 旭山 13:30-琵琶池(サンシャイントレール)

-サンバレースキー場①14:35-石の湯ロッジ 15:00



旭山コース概念図 青色

船橋に集合し、宮城車に乗車。サンバレースキー場①に昼過ぎに着いた。車道を5分程戻って、雪の積もった登山道に入った。白樺や常緑樹の樹林の中を進んでいくと、やがて樹氷が真っ青な空の下で、白く輝いて見えた。35分程で旭山山頂に着いた。山頂からは東に志賀高原の山々、西には真っ白に雪を被って連なる、美しい北信五岳を望むことができた。下山は琵琶池を周回するコースをとった。サンシャイントレールを歩いたが、ツボ足だったので、時々ズボリと足を踏み抜いて、体力を消耗した。愛子さんから、白樺とダケカンバの見分け方を教えてもらった。幹にへの字があるのが白樺ということらしい。長年の疑問が解けて嬉しかった。山頂から1時間ほどで駐車場に戻り、今宵の宿、石の湯ロッジに向かった。

石の湯ロッジは雰囲気も食事も良かった。源泉かけ流しのお風呂もあり、両日合わせて3回もはいつてしまった。食後はお酒を飲みながら、夜遅くまで尽きぬ話に花を咲かせた。



旭山山頂より北信五岳を望む



旭山の樹氷



旭山山頂にて



幹にへの字があるのが白樺



石の湯ロッジの夕食

18日(日)：快晴

石の湯ロッジ 9:20-9:45 前山スキー場①9:55-渋池 10:35-四十八池 11:25-渋池 12:25  
-前山スキー場②12:55-船橋 19:15

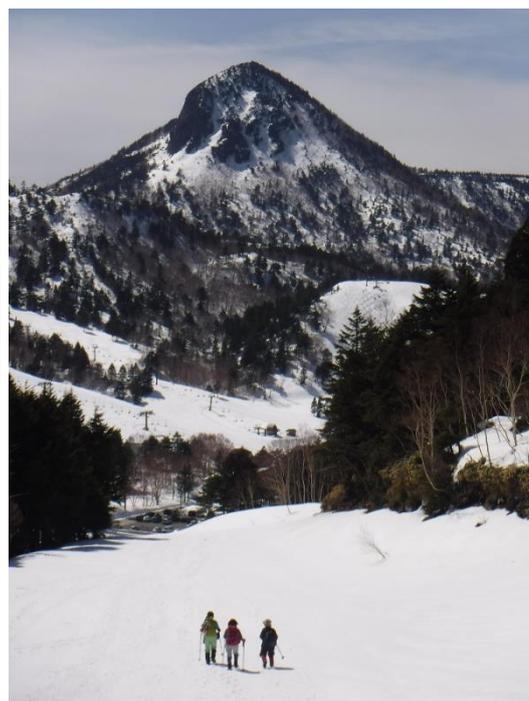


四十八池コース概念図 青色

朝風呂に入り、美味しい朝食を食べ、宿を出発。Kさんは体調を崩して残念ながら宿で待っていることになった。前山スキー場は現在休業中だ。営業していないので、誰もいないスキー場の斜面をワカンを履いて登っていった。スキー場が終わると樹林帯の中へ入っていった。渋池に出ると目の前が開け、横手山が眼前に大きく見えた。コメツガ、シラビソ、ダケカンバなどの樹林の中を進んでいくと、再び真っ白な平原に出た。四十八池だ。バックに志賀山、裏志賀山がどっしりとして見えた。帰りは来た時と同じルートで戻った。渋池で、ワカンを外した。前山スキー場から見る笠ヶ岳はとて立派に見えた。石の湯ロッジにKさんを迎えに行った。少し回復した様子で安心した。



志賀山、裏志賀山を背景に四十八池にて



前山スキー場より笠ヶ岳を望む

### 【リーダーより】

雪山山行は、いろいろなレベルがあり厳冬期にテントを担いでラッセルしながら登るとか、ロープをだしてバリエーションに登るとかのような山行だけではありません。

私のようにあまりに寒い所でテントで寝るのはちょっと、、という方も結構いらっしゃると思います。雪山はまずは日帰りで登れるところに行ってみて、そこからステップアップして厳しい山を目指すもよし、なので そういう方のキッカケになればと、これからも宿ベースの雪山を企画していきたいと思います。私もまだまだ雪のルートファインディングとか自信が無いので修業して公募出来るくらいになりたいと考えています。

日帰りのたのしい雪山、研究しますのでよろしくおねがいします。

今回の志賀高原の四十八池は、夏こそ子供でも歩けるルートですが、雪が付くと道も分かりにくく、トレースがなかったら途中敗退したかもというくらいのレベルになります。

雪山は奥が深いです。